

## 石橋湛山研究会の開催状況

25.01現在 篠原孝事務所

		講師	役職,肩書	演題	主な著書 (石橋湛山関連は太字)	
野党・石橋湛山研究会 (篠原孝代表、小山展弘事務局長)						
2 0 2 3	3/8 第1回 増田 弘	立正大学名誉教授	政治家石橋湛山の思想と行動	下欄 ✓	<p>『石橋湛山——占領政策への抵抗』 (草思社, 1988年) 、オンデマンド版2003年          『石橋湛山研究——「小日本主義者」の国際認識』 (東洋経済新報社, 1990年)          『悔らず、干渉せず、平伏さず——石橋湛山の対中国外交論』 (草思社, 1993年)          『石橋湛山 リベラリストの真髄』 (中公新書, 1995年)          『石橋湛山日記』 (みすず書房2001)          『石橋湛山——思想は人間活動の根本・動力なり』 (ミネルヴァ書房 〈日本評伝選〉, 2017年)          『政治家・石橋湛山研究——リベラル保守政治家の軌跡』 (東洋経済新報社, 2023年) 他湛山以外多数</p>	
2 0 2 3	3/30 第2回 鎮目雅人	早稲田大学 政治経済学術院 教授	石橋湛山の経済思想の先見性	信用貨幣の生成と展開:近世~現代の歴史実証 単行本 – 2020(編集)		
	超党派石橋湛山研究会 (共同代表: 岩屋毅(自)、篠原孝(立)、古川元久(国) 幹事長: 古川禎久(自) 事務局長: 小山展弘(立))					
	6/1 第1回 ダイク・リチャード	日本産業パートナーズ 取締役	(なし)	グローバル化とリーダーシップ 国際文化会館 新渡戸国際塾講義録 2(共著)		
	11/1 第2回 石橋省三	一般財団法人 石橋湛山記念財団 代表理事	石橋湛山の本質 -身内の視点-	石橋湛山 没後五〇年に考える (早稲田新書 2019) (共著)		
	12/1 第3回 藤原帰一	千葉大学国際高等研究基幹特任教授 (東京大学名誉教授)	経済による平和 – 石橋湛山と現在 –	新編 平和のリアリズム (岩波現代文庫 2010) 、戦争を記憶する 広島・ホロコーストと現在 (講談社現代新書 2001) 他多数		
	2/21 第4回 寺島実郎	一般財団法人日本総合研究所会長、多摩大学学長 (政治評論家)	石橋湛山への視座	21世紀未来圏 日本再生の構想—全体知と時代認識 単行本 – 2024) 等多数		
	3/4 第5回 宇野重規	東京大学社会科学研究所 教授、(NIRA総合研究開発機構 理事)	石橋湛山のリベラリズム – 戦前と戦後を超えて –	保守主義とは何か - 反フランス革命から現代日本まで (中公新書 2016) 、民主主義とは何か (講談社現代新書 2020) 他多数		
	4/17 第6回 中島岳志	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授 (政治学者、歴史学)	石橋湛山とリベラル保守	保守と大東亜戦争 (集英社新書 2018) 他多数		
	5/22 第7回 船橋洋一	国際文化会館グローバル・カウンシル チェアマン	近来の世相ただ事ならず – 『危機の20年』と日本の針路 –	湛山読本—いまこそ、自由主義、再興せよ。 (2015) 、宿命の子 安倍晋三 政権クロニクル (2024) 他多数		
	6/20 第8回 保阪正康	ノンフィクション作家、評論家、「昭和史を語り継ぐ会」主宰	石橋湛山・その人物像と政治思想	石橋湛山の65日 (東洋経済新報社 2021) 、田中角栄の昭和 (朝日文庫 2025)		
2 0 2 4	11/26 第9回 倉重篤郎	毎日新聞客員編集委員	今我々は湛山から何を学ぶか	岸信介宛て石橋湛山の私信 (サンデー毎日2016) 、秘録 斎藤次郎 最後の大物官僚と戦後経済史(2022)		
	12/13 第10回 寺島実郎(2回目)	同上	1920年代と近似する『時代の空気』 – 石橋湛山の視座を再考する –	同上		
2 0 2 5	1/28 予定	第11回 佐高信	–	–	孤高を恐れず—石橋湛山の志 (講談社文庫1998) 、湛山除名 小日本主義の運命 (岩波書店2004) 、石橋湛山を語る いまよみがえる保守本流の真髄 (集英社新書2024)	